

備 前 市 施 策 評 価 シ ー ト

施 策 名 (小項目)	地域防犯	コード	作成者	役職	市民課長
		01-04-03	山台 智子	氏名	山台 智子
				電話	64-1876
				このシート作成に要した時間	2.5 時間

この施策の アピール ポイント	関係機関・団体との連携を図りながら、自主防犯団体の活動が活発化・定着化するよう支援を実施
-----------------------	--

この施策の 平成24年度の 施政方針	地域防犯についてであります。地域防犯に係る関係機関・団体との連携を一層強化し、特に自主防犯団体の活動が活発化・定着化するよう支援を実施してまいります。また、防犯灯については町内会等からの設置申請が多いため、補助予算を増額するなど安全・安心のまちづくりに向けた施策を推進してまいります。
--------------------------	--

< 備前市総合計画の内容から記載する >

政策の体系	基本目標(大項目)	安全で快適に暮らせるまちづくり
	基本施策(中項目)	安全で安心して暮らせるまちづくり
対象と目的 (誰のために、何のために)	市民が安全で安心して暮らせるよう、地域での犯罪抑止機能の向上を図る。	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	近年の犯罪は、空き巣、たかり、ひったくり犯罪のほか、高齢者を対象とした振り込み詐欺、児童・生徒に対する声かけ事案や残虐な殺傷事件などが多発するなど、だれもが被害者となる可能性があります。また、市民同士のつながりが希薄化し、犯罪を未然に防ぐ抑止力が低下しているといわれる中、かつての安全神話も崩れつつあります。市民一人ひとりが、「自らの安全は自ら守る」という基本に立ち、地域での安全活動の重要性と必要性を強く認識し、犯罪の発生を未然に防止するため、警察や防犯連合会など、関係機関と地域が連携して防犯体制を強化することが必要です。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 防犯意識の高揚 情報の提供 安全・安心な環境整備 地域との協働 	

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

成果指標	施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
			H22	H23	H24			H25	H28
全刑法犯認知件数	目標	件	400	400	400	資料 県警発行のセイフティアップ岡山 (100以下で達成)	H25	400	
	実績	件	358	316	264		H28	400	
	達成率	%	89.5	79.0	66.0		-	-	
	ベンチマーク						-	-	
子どもや高齢者への声かけや見守りなど地域の防犯活動等に協力している市民の割合	目標	%	-	-	85	市民意識調査	H25	85	
	実績	%	-	-	81		H28	90	
	達成率	%	-	-	95.6		-	-	
	ベンチマーク						-	-	
防犯灯設置申請による対応率	目標	%	100	100	100	申請件数/補助交付件数 (H22、H24については補正予算増により対応した)	H25	100	
	実績	%	100	100	100		H28	100	
	達成率	%	100.0	100.0	100.0		-	-	
	ベンチマーク						-	-	
参考指標	目標						H25		
	実績						H28		
	達成率	%					-	-	
	ベンチマーク						-	-	

目標達成に必要な新規事業(裏面 施策構成事務事業以外の事業)及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
警察	犯罪防止	犯罪を未然に防止するために地域住民への情報提供、活動支援
地域住民	防犯体制の強化	組織の確立、警察・市との連携、防犯パトロール等を地域で実施する自主活動

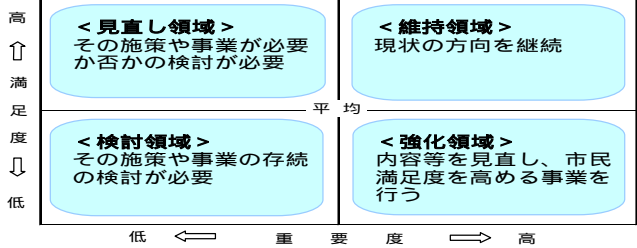
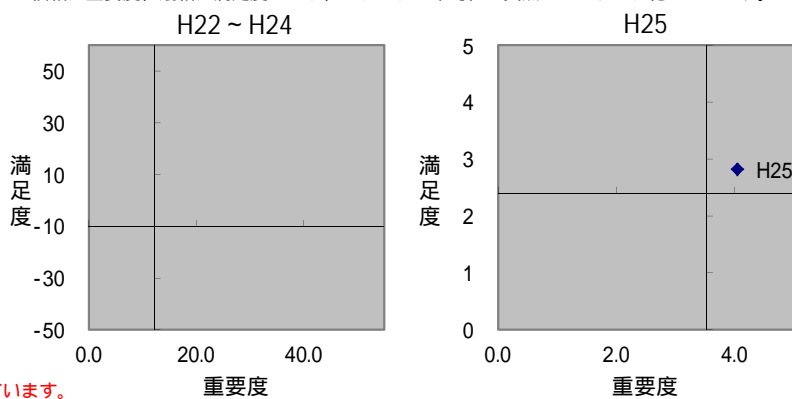
施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い				
		判断理由(なぜ、そのランクと評価したのか)				
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	3	全刑法犯認知件数の減少は地域防犯を象徴する指標として妥当である。				
2 <事業構成の妥当性> 手段は最適か?	3	安心安全のまちづくりは重要であり、事業構成は妥当である。				
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	4	市民意識調査の結果が好転してきていることから有効な施策であると考え、今後も成果が上がるよう継続して実施する。				
進行年度(H25年度)の取組内容 (課題解決状況)	地域防犯は、警察・市・地域が連携して防犯体制を強化することが重要である。今年度も引き続き、防犯意識の高揚を図るとともに、自主防犯団体の活動が活発化するよう連携を図って行く。					
翌年度(H26年度)の取組目標	警察・市・地域が連携して防犯体制の強化を目指す。地域防犯活動団体や町内会等からの要望の多い防犯灯の設置補助金については、引き続き地域防犯意識の高揚のために確保をしたい。					
二次評価者コメント	市民が安全で安心して暮らせるよう、行政と関係団体等が連携した事業を展開することが必要である。また、市民一人ひとりが声を掛け合いながら防犯意識を高め、地域活動の輪を広げていくことも重要である。				基本施策への 貢献度 3 中立	
役職	市民生活部長					
氏名	野上 茂之					

市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H22	H23	H24	H25
重要度(%)				4.1
満足度(%)				2.8

横軸に重要度、縦軸に満足度をとり、それぞれの平均値を交点としてグラフ化しています。



H25から数値の採取方法を変更したため、別グラフで表示しています。

調査結果に対するコメント、市民の反応等	調査結果により、「交通安全・地域防犯・消費生活」を合わせた施策の重要度・満足度はともに平均値を上回りました。今回新たに調査項目とした「子どもや高齢者への声かけや見守りなど地域の防犯活動等に協力している市民の割合」が81.3%となり、地域の皆様の防犯意識が高いことが証明されました。今後もこれに安心することなく引き続き、安全安心の施策を展開するべきと考えます。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

